

# 令和5年度 第1回 若葉区区民対話会（千葉災害ボランティア連絡会）

開催：令和5年8月19日（日）

## 〈次第〉

- 1 開会
- 2 区長挨拶
- 3 自己紹介
- 4 意見交換

参加者の自己紹介の後、「若葉区における防災の取り組みと共通理解」というテーマで意見交換を行った。

## 〈意見交換の概要〉

### ①行政への要望・意見について

（千葉災害ボランティア連絡会）

- ・災害時で一番大事なのが、各組織同士がうまく連携することである。しかしながら、現在、組織同士のつながりが少ない。そのため、災害時に即時に連携が取れるような組織づくりを強化してほしい。
- ・防災計画を立てるにあたって、数年後の未来だけでなく、数十年後の未来を見据えることが必要。若葉区としても数十年単位先の未来を考えながら、防災対策等を考えてほしい。
- ・避難所運営委員会のメンバーは、年に1度しか顔をあわせる機会がない。これでは、災害時にうまく連携をとるのは難しい。交流する機会を増やしてほしい。
- ・市職員の意識向上も必要なのではないか。例えば、市の中で防災に関しての研修を行う等。
- ・外国人が災害時に避難所にきた場合の対応も考えていかないといけないと思う。例えば、翻訳機の導入等。
- ・防災アドバイザー等、防災の知識を持っている方の活用をもっと積極的に行ってほしい。例えば、研修等に防災アドバイザーを派遣する等。

(区長)

- ・災害時にうまく動くためには、おっしゃるとおり、組織作りが必要。市としても組織同士がうまく連携できる環境を作っていきたい。
- ・千葉市だけでなく、その他の自治体も長くて5年後のスパンでしか計画は考えられていないのが現状。数十年後の未来を考えて防災計画を立てるのは大変難しいが、大切なことだと思う。
- ・避難所運営委員会によっては、年2回の顔合わせを行っているところもある。自主的に行ってもらっても構わないが、市としても、メンバー同士のマッチング等を行えるので、その場合は地域づくり支援課に声をかけてほしい。
- ・市職員のさらなる防災意識向上については、工夫していく必要があると考えている。現在、職員毎に災害時の役割が決められているが、現場でどう動くかを一人一人が把握する必要がある。
- ・避難所での外国人への対応を考えるのは、大切だと感じている。
- ・防災アドバイザーを活用する組織立ては、必要だと感じている。市としても対策を講じていきたい。

## ②防災ライセンスについて

(千葉災害ボランティア連絡会)

- ・防災についてのライセンス制度導入は良いものではあるが、それによって、活躍できる人の幅を狭めているとも感じる。

(区長)

- ・防災ライセンスについては、本庁所管課と情報を共有する。

## 5 閉会